

研修報告 その1

『新任者養成研修⑤～⑧』

【新任者養成研修⑤】

- ◇研修日：H29年12月2日（土）
- ◇会場：ウインクあいち
- ◇テーマ：『介護保険制度』、『退院援助その1』
- ◇参加人数：51名

【新任者養成研修⑥】

- ◇研修日：H29年12月16日（土）
- ◇会場：ウインクあいち
- ◇テーマ：『退院援助その2』、『退院援助その3』
- ◇参加人数：54名

【新任者養成研修⑦】

- ◇研修日：H30年1月13日（土）
- ◇会場：ウインクあいち
- ◇テーマ：『医療機関機能別専門知識1～4』
- ◇参加人数：51名

【新任者養成研修⑧】

- ◇研修日：H30年1月27日（土）
- ◇会場：ウインクあいち
- ◇テーマ：『身寄りのない人への援助』『自己覚知』
- ◇参加人数：48名

◇アンケート

各回のコメント紹介◇

- 介護保険と一口に言ってもただサービスの説明をするのか、どうやってその人の望んでいる生活を支えるかを考えるかで支援が大きく変わってくるということがわかりました。在宅療養にむけて、MSWとして何をアセスメントしていくべきであるかを理解することができました。いかに患者さん家族の不安に向き合えるかが大切であると感じました。（5回目）
- 介護保険・退院支援ともに在宅生活をどう支援し、実際どのように生活されていくのか今まで漠然としていたことが少し具体的にイメージできました。患者さんの在宅生活・最期の時というような濃い部分に関わるからこそ、慎重に丁寧に、患者さんに寄り添っていくことが大切だと思いました。（5回目）
- 「退院支援」が学生するとき、MSWの仕事だとイコールで思っていました。しかし、そうではなく、仕事の一部であることが8ヶ月仕事をして感じて来ました。急性期病院で働いており、医師や看護師から早く退院させてと言われることが怖く、当院から次へ出すことがゴールで、送ることのみに集中しがちでしたが、患者にとっては地域に戻ってからが生活であるということを忘れずに支援していかないといけないと思いました。しかし、このように自分の仕事の基盤を知っておく必要があるなど感じました。（6回目）
- 改めてそれぞれの機関の機能について学ぶことができました。患者・家族が何を望んでいるのかをしっかりと理解してそれにあった療養先を選ぶために今回学んだことは非常に大切です。加算について理解していないことも多かったため、教えて頂けて良かったです。（7回目）

- 講師の方の経験、体験等、具体的な話をしていただけるとわかりやすく、参考になりました。ありがとうございました。(8回目)
- 自己を知るとというのはワーカーだからというだけでなく、社会の中で適応して生きていく上で大切なことだと改めて感じた。どんな時でも自己を客観的な視点で見ること、自分を知っていく姿勢も大事になるのではと思った。(8回目)

新任者養成研修会 後半を振り返って

委員長 外山弘幸

10月より60名の受講生と共に始まった、29年度の研修会も1月27日の8回目で最終回を迎えました。最終回には懇親会も開催し、和気あいあいとした雰囲気の中で無事に終了しました。協会の機関誌「医療ソーシャルワーク」委員会報告にまとめを記載していますのでまたご覧ください。

この研修会は、基本的に土曜午後の開講でしたが、土曜日に勤務がある方もみえ、業務を終えた後、急いで受講される方や休みで他の予定もあるにも関わらず参加される方など置かれている環境は違いますが、皆さんの熱心さが伝わる研修会であったと思います。また季節柄、体調を崩される方もみえ参加したくてもできない方などもみえました。講義中は資料にメモを書き込み、自らの業務にこの研修を活かしていきたいという強い思いも伝わってきました。

協会員である、講師の方々も事例を用いてわかりやすいように話をしたり、DVDなどの映像を用いたり自らの新人の頃を思い返しなが、資料作成等携わっていただき感謝しております。今回受講していただいた60名の方も何年か先には、この研修会で講師として協会員や受講生にお話をしていただければと思います。

当協会の研修は研修部の働きかけもあり大きく進化していると思います。歴代の研修担当理事の方々のご尽力もあってのことだと思います。是非この機会を無駄にせず、積極的に研修会に参加していただきたいと思います。また私達委員会の委員も新年度、新たな気持ちで皆さんと共に企画していきたいと思います。